

子ども・若者等とともにつくる計画原稿

～子ども等の意見を反映した事業推進へ向けたワークショップの実施～

タイトル	行こう！話そう！体験しよう！就労ワークショップ
------	-------------------------

内容
子ども・若者総合計画に掲載されている障害者就労支援センターで行う事業に対して、こどもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させるためにワークショップを行う。(こども基本法第11条こども等の意見の反映に基づく) 対象者：こども「小学生～中学生(高校生)に該当する年齢層」、子育て当事者「こどもの保護者」

概要
子どもたちをグループ分けし、チームで協力して成果物(IKEBUS ペーパークラフト作成)を仕上げる工程を体験する。保護者を依頼者、上司。子ども達を作業員(受注・運搬・組立・検品・納品)として役を実施。 【会場】区役所本庁舎1階センタースクエア 【参加人数】15名(子どものみ、保護者も入れると30～40人程度) 参加者内訳：小2－2名、小4－1名、中1－4名、中2－6名、中3－1名、高3－1名 【スケジュール】※8月30日 午前9時45分会場 10:00～10:10 パワポによる説明(区職員) 10:10～10:15 自己紹介(保護者・子ども)【グループワーク】 10:15～10:20 役割決め(保護者・子ども)【グループワーク】 10:20～10:45 仕事(作業)体験(保護者・子ども)【グループワーク】 10:45～10:55 意見聞き取り(保護者・子ども)【チーム発表】 10:55～11:00 意見回収(アンケート)

子どもたちに何を感じてほしいか／参加した後にどんな気持ちにさせたいか
社会参加する方法の一つとして就労を認識できた／大人になって社会の一員になる自覚を持てた など

意見反映対象の事業	
事業名	事業目的
就労促進支援事業	一般就労を希望する障害者の就職準備(履歴書の記入の仕方や模擬面接)や就職定着支援(企業訪問・三者面談など)を行います。就労前準備講座を開催し、企業で働くことの具体的なイメージにつながる機会の提供をします。企業実習等を通して、職場体験をし適性な職業を見つけていきます。
余暇活動支援	就労している知的障害者へ交流の場を提供することにより、就労意欲の増進と就労定着を目指します。

【WS 後の様子】

●保護者の声

- ・子ども達も、保護者も皆んな喜んでいました。このような機会を与えてくださり、ありがとうございます！
- ・細やかな気遣いがとても嬉しかった

●WSに参加した家族（普通級の中学生）の声

- ・同じ中学生でもとても作業に熱心で、素直でいい子達ばかりだった
- ・作業するときに、①まずこうする②次はこうするなどの工程が決まっていたのでわかりやすかったし、最後に感想を言う時に社長が「上手く言おうとか、完璧な答えは必要ないです」とおっしゃった時に、とても気が楽になって、発言してみようかな？という気持ちになれた
- ・自分も社長のような優しい方に雇われたい

●事業担当者の感想

- ・今回、ワークショップの企画段階から子育て当事者と調整しながら企画を進めたが、色々と気が付くことも多かったので子ども施策に関係薄い部署でも有効な感じはする
- ・障害者ではない普通級の子どもが、施策に触れることで、子どもの内から興味を持てたのも良い傾向だと感じた
- ・後は、障害部門としてアンケート結果をどのように意見を反映させるかですが・・・子ども達にガッカリされないように、大人として頑張ってみます

